

平成27年度の学校評価(自己評価結果等)

本校の教育目標 1 生きて働く知性 2 豊かな心と礼節 3 たくましい気力と体力			
本年の重点目標		自主・自律を育む教育の推進	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
防災教育 (総務部)	実践的な防災体制の確立	① 現行の防災体制の改善をし、生徒の意識の向上を図る。 ② 防災情報を周知徹底し、状況に応じた迅速な行動様式の確立を目指す。	① 実際に近い形で化学室出火の避難訓練を実施することができ、生徒の意識の面は向上できたと思う。調理室出火の避難経路を早急に確立させたい。 ② 「絆ネット」の使用する機会を多くした。「絆ネット」を今後も有効に活用し防災情報を素早く伝達できるようにする。
学習指導 (教務部)	自主的な学習習慣の育成	① 予習・復習の徹底及び確認 ② 休日・長期休業における課題の活用	① 予習・復習に関しては、現状ではまだまだ徹底できていない。日常の週末課題や小テスト等に対する取り組みは良好であるが、学習習慣の定着に向けて、引き続き方策を考えていかなければならない。 ② 長期休業における課題の提出状況は、各学年会の協力のおかげで、かなり改善されている。今後は課題テストの作問方法や出題範囲等を工夫し、課題の持つ意義を高めていきたい。
生徒指導 (生徒指導部)	① 基本的な生活習慣の育成 ② 自他の命を大切にすること。	① 遅刻・身だしなみ指導の充実 ② 交通安全教育の充実 ③ いじめの予防	①、②については今年度に限ってみれば、ほぼ満足できるレベルの成果が上げられた。来年度以降は生徒をルールづくりや啓発・指導活動に参加させるなど開発的な指導を実施したい。交通事故に関しては今年度多発した歩道上の事故予防、事故時の対応などを重点的に実施したい。 ③については重大事態の発生は無かった。来年度は記名式アンケートの実施など、より突っ込んだ指導ができる方策を考えたい。
進路指導 (進路指導部)	3年間を見通した進路指導の充実	① 生徒・保護者の進路意識の更なる向上 ② 生徒の主体的な進路選択能力育成に向けた指導体制の充実	① 「進路の手びき」の発行、進路講演会、進路に関する懇談会、大学見学会などにより、保護者の協力を得つつ、生徒の進路意識を向上させることができた。 ② 授業後の補習の機会を増やすことにより、学年と連携をとりながら生徒の主体的な進路選択能力の育成を行った。
環境美化 (保健厚生部)	環境の美化	① 日常清掃を充実させる。 ② 美化委員会活動を充実させる。	① おおむね良好だが、生徒の美化意識をより向上させ日常の清掃活動をより充実させる。日常清掃の区域・監督等の工夫をしたい。 ② 美化委員によるクリーン活動を地道に実施しているが、生徒がより主体的に活動できるようにしていきたい。
読書活動 (図書部)	図書委員会活動の充実	① 図書委員会を定期的に開催し、委員会活動の充実を図る。 ② 代表者の活動を活性化させる。	① 国際交流会・文化講座・読書月間などの行事ごとに図書委員会を開いて役割分担を決定し、担当教員が適時助言をしながら委員会活動を行なった。さらに充実したものになるよう工夫をしていきたい。 ② 代表者は行事のテーマを決めたり、司会を務めたり図書館報のコメントを考えたりして、各場面で活発に活動した。
教育工学 (教育工学部)	情報化時代に対応する視聴覚・情報機器の積極的活用法の検討	① 情報セキュリティを踏まえた文書・データの管理方法の検討 ② 校務の効率化推進 ③ 本校ホームページの充実	① 情報セキュリティ対策の重要性については、学期毎にアンケートを行い、職員への周知を徹底することができた。データの管理方法については、より良い方法を検討中である。 ② 校務支援システムによる職員への情報伝達の効率化について、最適な方法を研究中である。 ③ ホームページを刷新し、掲載データを更新することができた。
部活動 学校行事等 (生徒会部)	① 部活動の充実と整備 ② 生徒会行事の充実と整備 ③ 執行部の活動の充実	① 部活動の活性化と活動規則の見直しを図る。 ② 学校行事の活性化と内容の見直し。 ③ 福祉・ボランティア活動の充実を図る。	① 多くの部活で活動時間を守って速やかに下校することができた。近隣の体育館を大切に利用することができた。来年度に向けて、部に誇りを持ち、身だしなみを意識できる部活動を持たせたい。 ② 熱中症対策として、部活動対抗リレーでレク種目と競技種目を分けることで生徒が連続で走らないよう工夫した。また、飲料ブースを設けたところ、多くの生徒が利用して水分補給の機会を増やすことができた。 ③ アートフェスタの広報部生徒として、テレビ局や新聞社への広報活動を行った。当日は会場準備・運営に積極的に活動できた。今後は地域の福祉協議会と連携してボランティア活動に積極的に参加していきたい。
意欲的な 高校生活 (1年)	① 自発的な学習態度の育成 ② 基本的な生活習慣の確立 ③ 学校生活の充実	① 自発的に学習に取り組む姿勢を育成する。 ② 時間や規律を守らせる。 ③ 部活動を奨励する。	① 補習や校外模試の参加生徒が増えた点は意欲的であるといえる。家庭学習の動機付けにするための取り組みは依然必要である。 ② 概ね良好である。守らせる指導から、規律の意義を理解させる指導にやや軸足を移せる状況になりつつある。 ③ 部内の良好な人間関係を築くことに課題を残す。競技力など技術の向上に加え、人格を磨く場として部活動に取り組ませたい。
意欲的・自律的な学習や生活 (2年)	① 意欲的な学習態度、進路意識の確立 ② 自律した生活の実践	① 意欲的な学習態度を育成し進路に対する意識を高めさせる。 ② 規律ある学校生活を送らせ公共心や協調性を育てる。	① 真面目に学習に取り組む生徒が多く、ある程度の成果も出すことができた。その一方で、自宅での学習習慣がいまだに確立できていない生徒も見られる。進路実現に向け、早急に切り換えさせる必要がある。 ② 修学旅行後にやや気のゆるみが見られた。一年を通して、概ね落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができた。
進路目標達成 (3年)	① 意欲的な学習態度の確立 ② 自律した生活の実践	① 個々の進路目標を設定させ、学習に邁進させる。 ② 規則正しい生活習慣を維持させ、自ら考えて行動する習慣を身につけさせる。	① 進路目標の設定については、概ね実行できたが、学習に取り組み時期が遅れた。早い時期からの声かけが必要である。 ② 年度当初はやや落ち着きがなかったが、概ね良好であった。自行動する場面も見られたが、まだまだ不十分であった。考えて行動する機会をもっと増やすべきであった。
総合評価	① 早い段階で進路目標を明確にし学習習慣を定着させる必要がある。授業改善に努め生徒の興味関心を喚起し自ら学習する姿勢を育成していかなければならない。 ② 身だしなみや遅刻指導など学校全体で生徒を指導していく必要がある。「～しない」ではなく「～しよう」といった生徒自信に考えさせ意識を向上させるような指導法を工夫していきたい。 ③ 学校行事や部活動指導の在り方等について検討を加えさらに活力ある学校とし、保護者・地域社会への発信を積極的に行い信頼される学校をめざしていかなければならない。		